

# 南海日日新聞

2月25日(木)  
 旧暦1月14日・友引  
 発行所  
 日本新聞協会加盟  
**南海日日新聞社**  
 〒894-8801  
 鹿児島県奄美市名瀬長浜町11番3号  
 電話 0997局  
 総合・総務局  
 53-2121ファックス 52-2354  
 編集局  
 53-2127ファックス 53-6636  
 Eメール rankaimibo.synapse.ne.jp  
 営業局  
 53-2126ファックス 53-6431  
 Eメール rankai@bronze.ocn.ne.jp  
 販売部  
 53-2125ファックス 53-1475  
 http://www.rankainn.com/  
 ©南海日日新聞社 2021年

## 海越えドローン空輸、成功

### カップや飲料水、運搬実験

瀬戸内町



与路港からハミヤ島に向けて、カップ入りコーヒーを運ぶドローン=20日、瀬戸内町与路島(TARGET DX社提供)

瀬戸内町のTARGET DX社(立石聡明代表取締役社長)は20日、同町与路島でドローン輸送の実証実験を行った。輸送手段に限られた離島の課題解決に向けた取り組み。この日は与路港から与路島沖の無人島ハミヤ島間(直線距離1.8キロ)と、陸路での往來が困難な与路島アテツ海岸間(同0.5キロ)で軽量の物資輸送に成功した。

同社は2018年に瀬戸内町と地域活性化包括連携協定を締結。19年度、与路島が農林水産省の農山漁村交付金(地域活性化対策)スマート定住強化モデル地区に選定されたことを受け、現地の課題やニーズ調査を実施した。21年2月にはドローン輸送の来年度事業化に向け、香川県のドローン活用事業者「ドローンロジスティクス&ソリューションズ」を完全子会社化した。

今回の実証実験では、与路港からハミヤ島までコーヒーを入れたカップ2個(重量約400g)を、アテツ海岸までは動物用医薬品・療養食、飲料水(重量計約770g)をそれぞれ輸送。ハミヤ島では波が高かったため、上陸しての受け取りは行わず、島の上空まで飛行して折り返した。アテツ海岸では目標地点の上空約3メートルから輸送物を投下し、海岸で物資を受け取った。

者は「当たり前前的事だが、物をつり下げることで風による機体への影響も大きくなる。輸送物の形状や、液体を運ぶ場合はこぼれないような入れ方の工夫が必要だと分かった。海風の吹き方などの予測を慎重にしなければいけない」と課題を語った。

同社は次の段階として、古仁屋港―加計呂麻島瀬相

**ピアノ買い取ります**  
 即日現金  
 無料査定  
**株セントラル機器**  
 0162015360

**Keeper PRO SHOP**  
 キーパープロショップ  
 キーパーコーティング電装  
**吉田商事株** 長浜SS ☎53-8148  
 旭浜SS ☎53-5559

きょうの天気  
 概況 湿った空気の影響で曇りやすか  

 24日18時

きょう 東の風や後南東の風や強く、曇りやすさから雨  
 朝 10 昼 50 夜 70  
 降水確率%

あす 南東の風やや強く後西の風やや強く、雨  
 予想最高気温 22℃ 最低気温 16℃

海上→きょう2後3、あす3後2.5の波  
 月齢13.3 大潮  
 日出6:51 日入18:19  
 月出16:10 月入5:24  
 満潮 6:33=潮位161  
 17:53=潮位167  
 干潮 12:13=潮位72  
 ー=潮位ー  
 いずれも名瀬

透明天気と	26(金)	27(土)	28(日)	1(月)	2(火)	3(水)
降水確率	80	60	40	30	40	20
最高気温	22	18	20	16	19	16
最低気温	12	10	11	15	14	14

港(直線距離6.8キロ)、瀬相港―与路島(同11.4キロ)の実証実験を行う予定。最終的には法整備と機体面実現したいとしている。